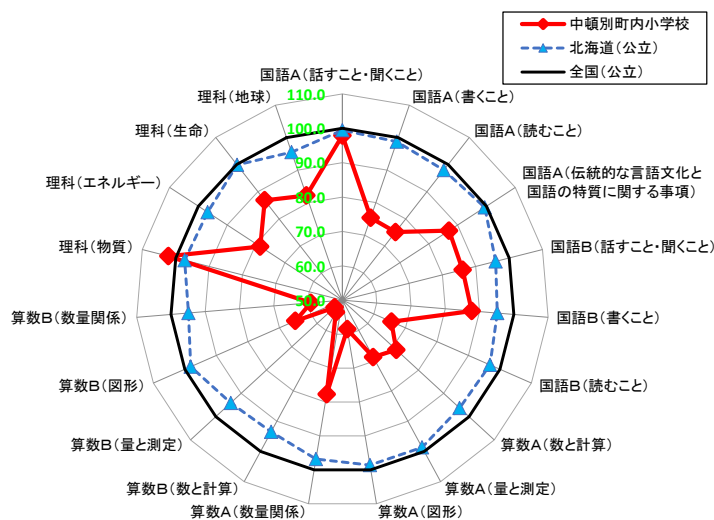


■中頓別町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:1校、児童数:9人)

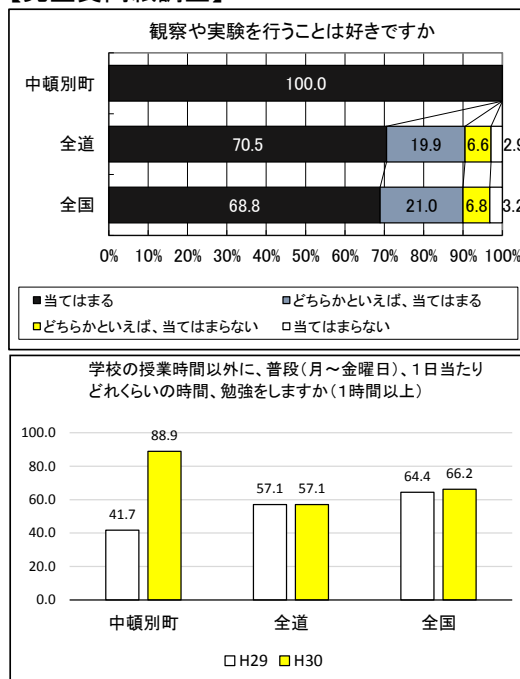
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

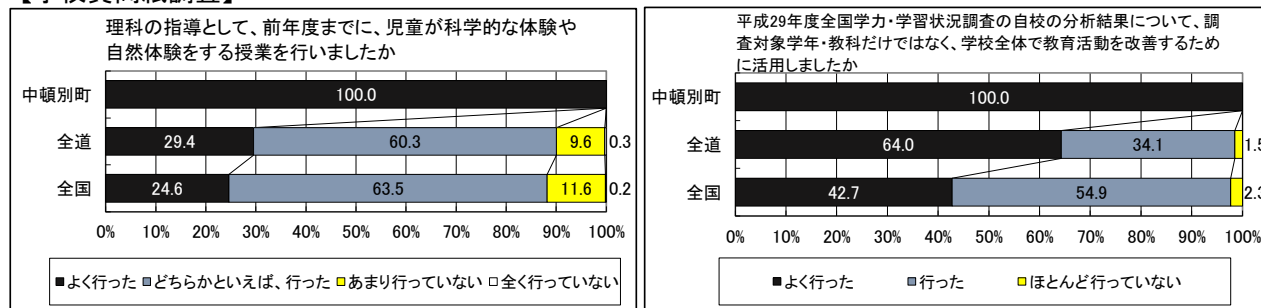
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語Aでは、「話すこと・聞くこと」で全国に最も近くなっている。 ○ 理科では、「物質」で全国を上回っている。	○ 理科の指導として、児童が科学的な体験や自然体験をする授業を行ったことにより、理科の学習活動の充実が図られ、全ての児童が「観察や実験を行うことが好き」と回答し、理科の「物質」で全国を上回ったと考えられる。
児童質問紙	○ 全ての児童が、「観察や実験を行うことが好き」と回答している。 ○ 「学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1時間以上勉強をしている」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。	○ 前年度の全国学力・学習状況調査の分析結果について、学校全体で教育活動を改善するために活用し、家庭での学習習慣の改善に係る取組の充実を図ったことにより、「普段、学校の授業時間以外に、1時間以上勉強をしている」と回答した児童の割合が、前年度と比較して高くなるとともに、全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	○ 理科の指導として、前年度までに、児童が科学的な体験や自然体験をする授業を行った。 ○ 平成29年度全国学力・学習状況調査の自校の分析結果について、調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で教育活動を改善するために活用した。	

【中頓別町の学力向上策】

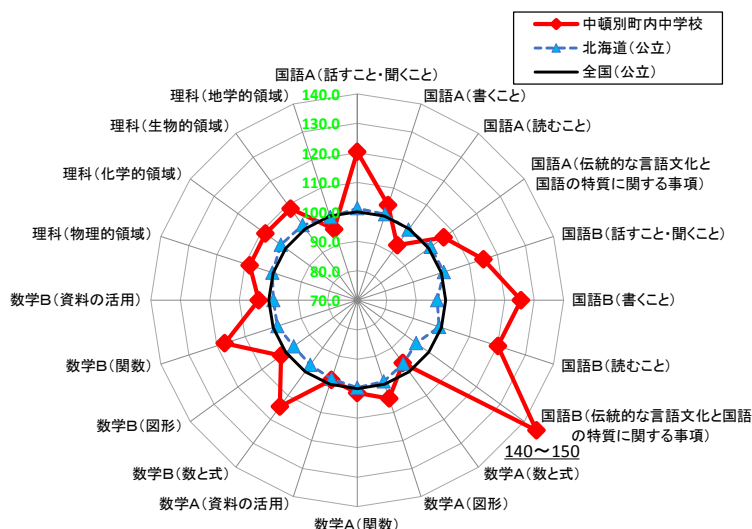
- ◎ 「早寝早起き朝ごはん」運動の推進、家庭学習習慣の確立や読書の時間の確保
- ◎ 土曜授業の実施による補足的な学習等の授業時間確保
- ◎ 町費負担の複式学級支援教員の配置による複式学級における学年別指導の充実
- ◎ 全国学力・学習状況調査の結果に基づく教育活動の検証・改善
- ◎ 中頓別町教育研究会への支援、中頓別町・浜頓別町合同研究会の開催
- ◎ 漢字検定受験料の全額補助

■中頓別町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:1校、生徒数:14人)

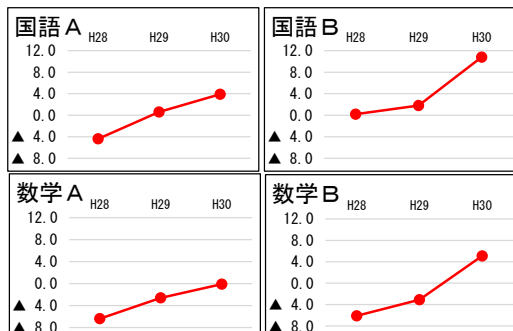
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)

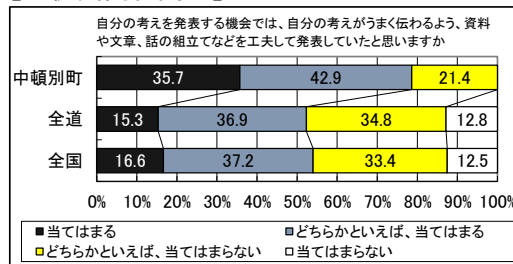


【平均正答率の全国との差の推移】

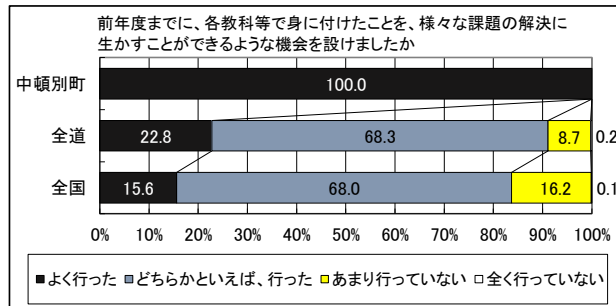
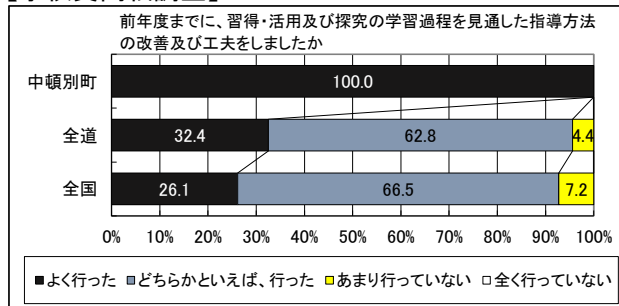


※「平均正答率-全国(公立)の平均正答率」の差の経年変化

【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語Aでは、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、Bでは、全ての領域で全国を上回っている。 ○ 数学Aでは、「図形」「関数」、Bでは、全ての領域で全国を上回っている。 ○ 理科では、「物理的領域」「化学的領域」「生物的領域」で全国及び全道を上回っている。	○ 習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫を行ったことにより、日常の授業改善と教員の指導力向上が図られ、国語A・B及び数学A・Bで前年度を上回ったと考えられる。 ○ 各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設け、生徒に自分の考えを表現する必要感をもたせるなど言語活動の充実を図ったことにより、「自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していた」と回答した生徒の割合が全国を上回ったと考えられる。
生徒質問紙	○ 「自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していた」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。	
学校質問紙	○ 前年度までに、習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫を行った。 ○ 前年度までに、各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けた。	

【中頓別町の学力向上策】

- ◎ 「早寝早起き朝ごはん」運動の推進、家庭学習習慣の確立や読書の時間の確保
- ◎ 土曜授業の実施による補充的な学習等の授業時間確保
- ◎ 全国学力・学習状況調査の結果に基づく教育活動の検証・改善
- ◎ 中頓別町教育研究会への支援、中頓別町・浜頓別町合同研究会の開催
- ◎ 漢字検定及び英語検定受験料の全額補助